



金目川水系流域ネットワーク

世話人会

せせらぎ通信



とれたさかなほか



なにがとれたかな



金目川

2年間、新型コロナのために出来なかった、**金目川生き物観察会**を開催できました。楽しい一日でした。

水の中に入ると、すごく冷たい。

でもすぐになれます。

タモを上流に向けて、足で石や岩をゴリゴリ。石の下にいる生き物がタモに入ります。どうだい？とれたかい？楽しい一日でした！よかった～



さーあー始まるぞ



さあー川へ期待をもって アユ



ヒラテテナガエビ
金目川_観音橋 木村氏



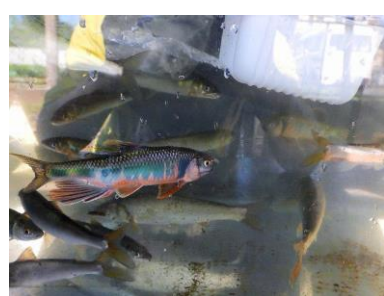
あいさつ



金目ネットメンバー



大学生の説明



あゆ



北野教授説明

北野教授説明



鮎のものがたりパワーポイントにて教える



鮎ものがたりを熱心に学ぶ



タワシで水槽の枠ガラスを清掃中

6月14日(火)は梅雨寒の雨で、急遽室内で神奈川県環境科学センター長谷部主任研究員による大型水槽の管理の注意点をレクチャーで清掃の大切さを確認しました。

大型水槽では5月に放流した魚たちがスイスイと心地よくすんでいます。ヌマチチブが小さなヌマエビなどを食べてしまったことを知りました。

次にあゆのものがたりをパワーポイントにて教えました。あゆは秋に産卵して、冬は海の波打ち際の水深1メートルで年を越しています。春になると川を遡上して石の藻を食へ大きくなって、秋に下流に下り産卵して短い1年の命を絶えます。

大型水槽の清掃はタワシで水槽枠のガラスについた汚れを掃除し、濾過した汚れた水を汲みだし捨てました。そして、きれいな水をカラになった濾過のたまりへ移動し、きれいな水を補給し大型水槽はきれいになりました。

金目小学校 金目川生き物クラブ での学び

一緒に活動レポート



金目小学校 金目川生き物クラブの 7月は

レポート

7月

7月5日(火)は、台風4号の雨で又急遽室内の活動を行いました。学校の大型水槽内では魚たちがスイスイと心地よく生きていました。

理科室できれいな水の調べのCODについて実験をしました。気温29℃金目川水温は28℃大型水槽26℃でした。

COD調べは金目川3、大型水槽は5.5でした。終始、生徒は私たちの教えを真剣に聞き入る姿は励みになりました。

COD調査の手順と注意点を丁寧に指導して、水槽の中のCODが金目川より高いことを知りました。



COD試験用具の取扱いを学ぶ



クラブ員たちはしっかりとCODの事を学んでいる



熱心にCOD調査へ取り組む



水槽のCODは5.5.6とやや高い

金目小学校

金目川生き物クラブ

9月は金目川で生き物とり

レポート

9月27日(火)は、先週の土曜日の台風15号の後で、金目川は大きな影響を受けていると予想されたので現地へ3日前から検分をして、水量の多さと流れの急なことでフィールドでの生き物とりは厳しいと思ったが、前日は水量が大きく減少してワンド的になっているところのある金目川を見て安心をしました。

当日、川で魚や生き物とりができることで目を輝かせている生徒を見ると気合が入りました。

金目川左岸の草の繁みでアミを入れ、一生懸命にやっている。そして、私たちも一生懸命頑張っている。ヒラテテナガエビやスシエビ、ヌマエビがたくさん取れました。

やったーとの思いを抱いての、魚や生き物とりは良い体験になったと確信しました。



魚や生き物とりへ必死だ



魚を取ろうと生徒たち一生懸命にアミを入れている



ヒラテテナガエビ



川は楽しい

自然を大切にしたい人への 波紋 ひろがり

9月11日(日)、青空の下、秦野市・葛葉の家で平岡幼稚園の園児を対象とした生きもの観察会を開催しました。8月7日(日)金目生きもの観察会に続いてのリピート参加もありました。

タモ網とバケツ、背中にはリュックを背負い、おとうさん、おかあさんに手を引かれて、先ずは川まで向かう道のり。ちよつと大変かなと思っただけれど、足取りもしつかり、たどりが着きました。タモ網を立てて、その前の石をころころ、ガサガサ。斉藤先生が川遊びの基本を教えてくださいました。川に入りたてはなかなかこの動作がうまくできません。

特に小さな園児にはむずかしい。おとうさん、おかあさんが頑張つてころころ、ガサガサ。その内、結構、大人が夢中になってしまうのも毎年の生きもの観察会の光景です。

小さな生きものでも採取できると歓声と共にモチベーションが上がります。要領をつかんだ子ども達のバケツには沢ガニ、えび、アメンボ、小さな魚が増えていきます。

自分のバケツと、他の園児のバケツを見比べて、「んま」とする子ども。タモ網を片手にくぐぐんと水に入っていく姿が嬉しい。それぞれに採取スポットを探つて、活動範囲も広がっていきます。

採取には熱が入らないけど、川に胸まで浸かっている数人も楽しそう。それぞれの笑顔がはじけていました。

川遊びを終えて、採取した生きもの水槽に放ち、子ども達の目線で園長生当会ボランティアと一緒にどんな生きものがいたかを確認しました。

